

日誌

日誌 07月28日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|----------|
| 出欠状況 | 出席 36.9 良好 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | 病院実習について |
| | | 調剤 |
| | 10:00 | 服薬指導 |
| | | 薬歴 |
| | 11:00 | 受付・調剤 |
| | | 受付・調剤 |
| | 12:00 | 休憩 |
| | | 休憩 |
| | 13:00 | 受付・調剤 |
| | | 受付・調剤 |
| | 14:00 | フィードバック |
| | | 概略評価 |
| | 15:00 | 概略評価 |
| | | 概略評価 |
| 16:00 | LINEの返信 | |
| | 日誌 | |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | 薬局(よもぎ薬局) | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 07月28日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

高血圧の患者さんの服薬指導を担当した。薬歴を確認したところ、継続的な咳の症状が見れていたため、現在の咳の程度について伺った。さらに、自宅での血圧測定状況を確認したところ、「測って高かったら怖いから、測ってない」とお話されており、不安感があることがわかった。処方されていたビタラビン軟膏について、患者さんご本人から「ヘルペスに使っている」との説明があり、実際にその部位を見せていただいた。薬歴や患者さんの発言から、薬についてはしっかり服用されている様子をうかがえ、薬の目的も理解されており、コンプライアンスも良好であるように感じた。一見すると自己管理が十分にできている印象を受けたが、指導薬剤師の方より、受診頻度が高いこと、血圧測定に不安を感じていること、また薬歴から吸入薬の使用法について理解が難しい様子が見られることなどを総合的に考えると、認知症の進行が始まっている可能性があるということをお話していただいた。また、この患者さんには毎回の受診時にビタラビン軟膏を処方されているため、次回は使用頻度など、具体的な使用状況についても確認する必要があるというアドバイスもいただいた。

バラシクロビル錠をピックアップした。その際、バラシクロビルには粒状錠という、より小さな剤形もあることを教えていただいた。バラシクロビル錠は比較的大きいため、飲み込むのが難しい患者さんにとっては粒状錠が適しているが、現在は出荷停止となっていることについても知ることができた。

ステロイド外用薬であるアルクロメタゾンについて、ステロイドの強さ分類でmediumに該当することを学んだ。同じ分類に含まれる薬として、キンダベートやロコイドがある。

日誌

日誌 07月28日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | ○ |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | ○ |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 07月28日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|--|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | <p>ピッキングする際に、本来はオロパタジンOD錠を取らなければいけなかったが、オロパタジン錠を取ってしまった。最近薬の名前ばかりに注目してしまっていたので、剤形も忘れずに確認する。</p> <p>ピッキング作業の回数が多かったため、新しく触れた薬や、これまでに扱っていたものの記録に残していなかった薬剤について、しっかりとメモを取ることができた。ソリフェナシン、オロパタジン、エチゾラム、ビオフェルミン、カルベジロール、ケトチフェン、ワーファリン、アノーロエリプタについて、適応、用法用量、副作用、使用上の注意、作用機序などについて確認する。</p> |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 07月29日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|--------|
| 出欠状況 | 出席 36.9 良好 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | ホスリボン |
| | | ホスリボン |
| | 10:00 | 概略評価 |
| | | 概略評価 |
| | 11:00 | 概略評価 |
| | | 概略評価 |
| | 12:00 | 休憩 |
| | | 休憩 |
| | 13:00 | 副作用報告 |
| | | 副作用報告 |
| | 14:00 | 服薬指導見学 |
| | | 服薬指導見学 |
| | 15:00 | 会議 |
| | | 会議 |
| 16:00 | 服薬指導 | |
| | 日誌 | |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | 薬局(よもぎ薬局) | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名 | |

日誌

日誌 07月29日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

ホスリボン配合顆粒の処方内容が1回50mgを1日2回であったが、ホスリボンは1包当たり100mgで包装されているため、1回量としては過量となる。したがって、100mgから50mgずつ取り出して分包する必要があるが、ホスリボンは吸湿性が高く、開封後は湿気を吸って溶けてしまうという性質がある。そのため、分包後に乾燥剤も一緒に入れることや、患者さんの家族にも冷蔵庫での保管を促すなどの工夫が必要であることを教えていただいた。

PMDA（医薬品医療機器総合機構）に対して、副作用報告をオンライン上で提出した。該当患者さんの副作用発現の経緯、併用薬、報告者の意見などを入力する必要があり、想像以上に多くの情報が求められ、入力にも時間がかかることを体感した。その関連で、薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業について教えていただいた。これは薬局で実際に発生したヒヤリ・ハット事例を国が収集・分析し、全国での共有と再発防止につなげる取り組みである。実習中にいくつかの事例に目を通したが、簡潔かつ読みやすい形式だった。

服薬指導の見学では、ニトロペン舌下錠が処方されている患者さんへの対応を遠くから観察した。その患者さんは救急搬送されたが、大きな異常は見られず、「救急車を呼ぶほどではなかった」と言われた。そのため、「今後は救急車を呼ぶのを躊躇してしまう」と話されていた。医療者側からかけられた言葉が、患者さんの判断に大きく影響してしまうことを実感し、そのフォローも薬局が果たすべき役割であると感じた。

キンカンの主成分について確認したところ、主に含まれている成分はアンモニアであることがわかった。

骨粗しょう症の患者さんの服薬指導を担当した。月1回の服用となるミノドロン酸が処方されていた。服用日を患者さんと相談し、服用日を大きめの文字で紙に記載してお渡しした。

概略評価を実施した。

日誌

日誌 07月29日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | ○ |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | ○ |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 07月29日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|---|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | ホスリボンについて、適応、用法用量、副作用、使用上の注意、作用機序などについて確認する。また、NOによる血管弛緩作用の図は思い浮かぶが、はっきりと説明できないので講義資料を復習する。 |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 07月30日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|---------|
| 出欠状況 | 出席 36.7 良好 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | 薬歴 |
| | | フィードバック |
| | 10:00 | 調剤 |
| | | 服薬指導 |
| | 11:00 | 薬歴 |
| | | 受付・調剤 |
| | 12:00 | 調剤 |
| | | 休憩 |
| | 13:00 | 休憩 |
| | | フィードバック |
| | 14:00 | 薬歴一覧 |
| | | 薬歴一覧 |
| | 15:00 | 会議 |
| | | 会議 |
| | 16:00 | 日誌 |
| | | 日誌 |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | 薬局(よもぎ薬局) | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 07月30日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

昨日服薬指導を担当した骨粗しょう症の患者さんの薬歴を入力した。患者さんの発言内容がタイミングによって変わるので、どの情報が正確なのか判断が難しいと感じた。月1回服用のミノドロン酸が処方されており、本日が服用日であったため、他の実習生が電話で服用確認を行ったところ、患者さん本人はしっかり飲めたと返答していたようだった。ミノドロン酸と似たような服用方法である薬にリベルサスがある。仮にミノドロン酸とリベルサスが処方された場合の服用スケジュールについて考察した。どちらも服用後30分間の飲食はできないため、2剤を服用すると1時間以上食事を控えることになり、患者さんにとって負担が大きいと考えられる。1つの案として、リベルサスは毎日服用する薬であるため、ミノドロン酸を服用する日は飲まなくてもいいという選択肢もある。

以前情報提供書を作成した患者さんの処方内容について、一部解析を行った。シクロスポリンとバクタ配合錠の処方意図について検討した。この患者さんは腎移植の行っているため、移植による拒絶反応の抑制目的で免疫抑制剤であるシクロスポリンが処方されていた。免疫抑制により感染症リスクが高まることから、バクタ配合錠処方されていると考えられる。

高血圧患者さんの服薬指導を担当した。処方内容はアムロジピンのみであり、患者さんは毎日自宅で血圧を測定するなど、真面目な印象を受けた。一方で、薬の減量を望んでおり、その理由は聞き出せなかったが、本人の中で血圧が安定しているなら薬を減らせるのではといった考えがあるように感じた。

これまで担当してきた患者さんの薬歴一覧を振り返った。実習初期にきらべ、入力する量が明らかに増えており、特にSOAPのAの項目がより具体的に書けるようになっていた。

日誌

日誌 07月30日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | ○ |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | ○ |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 07月30日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|---|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | 高血圧の患者さんの服薬指導を担当した際に、薬を減らしたい具体的な理由を聞くことができなかった。どの患者さんの服薬指導でも、なぜと疑問を持ち、残りの実習で期間では意識していきたい。 |
| 添付資料 | 1021166 中崎優奈 (w). docx |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | 1021166 中崎優奈 (wコメント入り). docx |

日誌

日誌 07月31日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|---------|
| 出欠状況 | 出席 37.0 良好 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | 調剤 |
| | | 調剤 |
| | 10:00 | 服薬指導 |
| | | 薬歴 |
| | 11:00 | 服薬指導 |
| | | 薬歴 |
| | 12:00 | フィードバック |
| | | フィードバック |
| | 13:00 | 休憩 |
| | | 休憩 |
| | 14:00 | 休憩 |
| | | 休憩 |
| | 15:00 | 会議 |
| | | あいさつ |
| | 16:00 | 日誌 |
| | | 日誌 |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | 薬局(よもぎ薬局) | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 07月31日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

点鼻薬の調剤を行った。20mLの生理食塩水に、含嗽用ハチアズレ顆粒1gを加え、点鼻容器に入れて調剤した。顆粒がしっかりと溶けるよう、容器をよく振って混合した。同様の手順で2本作成した。

小児のアレルギーの服薬指導を担当した。処方内容には、フルチカゾンフランカルボン酸エステル点鼻液27.5 μ g56噴霧用が含まれていたため、過去に同剤を使用した経験があるかを確認した。フルチカゾン点鼻薬は、15歳未満では1日1回1噴霧ずつ、15歳以上では2噴霧ずつ投与する点について学んだ。また、併せて処方されていたフルオロメトロン点眼液0.02%については、懸濁性の点眼液であるため、使用前によく振る必要があることを伝えた。アレルギーに対する治療法として減感作療法について学んだ。減感作療法とは、アレルギーの原因（アレルゲン）を少量から投与し、徐々に体を慣らすことで過敏な反応を抑える治療法である。舌下免疫療法についても学んだ。これは、アレルゲンを舌の下に毎日投与することで免疫を少しずつ慣らし、アレルギー症状を軽減していく治療法である。

精神疾患の患者さんの服薬指導を担当した。処方には大建中湯が含まれており、患者さんから「飲むのが大変」との訴えがあった。理由を尋ねると、食前の30分前という服用タイミングが大変とのことであった。

OTC医薬品の販売対応を行った。来局された方は肩こりに悩んでおり、貼付用のテープ剤を探していたが、「シップ特有のにおいが苦手」との訴えがあった。成分表示を一緒に確認し、メントールが配合されている製品には、清涼感が強く感じられる可能性があることを説明した。今までOTC対応を実施した中で、よく説明できたと実感した。

日誌

日誌 07月31日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | ○ |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | ○ |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 07月31日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|---|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | 小児の患者に対し、フルチカゾン点鼻薬が2噴霧ずつと処方されていたが、誤りに気づくことができなかった。フルチカゾン点鼻薬は、15歳未満では1日1回1噴霧ずつ、15歳以上では2噴霧ずつ投与する点について学んだので、しっかり覚える。 |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | これ載せてましたっけ？↓ 登録者：小川 智弘 |
| 添付資料(薬剤師) | KG ver2. xlsx KG ver2. pptx |

日誌

日誌 08月01日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|---------|
| 出欠状況 | 出席 37.0 良好 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | 調剤 |
| | | 調剤 |
| | 10:00 | 服薬指導 |
| | | 薬歴 |
| | 11:00 | 在庫管理 |
| | | フィードバック |
| | 12:00 | 休憩 |
| | | 休憩 |
| | 13:00 | 服薬指導 |
| | | 薬歴 |
| | 14:00 | フィードバック |
| | | 在庫管理 |
| | 15:00 | 服薬指導 |
| | | 薬歴 |
| | 16:00 | 日誌 |
| | | 日誌 |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | 薬局(よもぎ薬局) | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(2)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(2)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 08月01日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

高血圧の患者さんの服薬指導を担当した。服薬に関することだけでなく、ご家族の話など、さまざまな話題で会話をすることができた。ゾルピデムが処方されていたので、毎日服用しているのかを確認した。あまり連日服用は望まれていないが、患者さんのご年齢を考慮すると、現在の服用状況でも問題はないという結論になった。また、睡眠薬の中には30日分までしか処方できない薬があり、月初めは睡眠薬の処方が集中しやすい。

風邪の患者さんの服薬指導を担当した。前回も風邪薬が処方されていたので、症状の経過について伺った。前回処方されたカルボシステインの服用後に下痢が生じたため服用を中止したとのことで、その後の体調の変化も確認した。今回処方された吸入薬の使用方法については、患者さんが正しく使えるよう、実際に実物を見せながら説明した。また、テオフィリンも処方されていたので、カフェインとの相互作用を考慮し、コーヒーを飲む習慣があるかも確認した。

別の高血圧の患者さんの服薬指導を担当した。マグミットが処方されているので、お通じの状態について確認した。患者さんから「〇〇さんはいないの？いつも優しいのよね」と言われ、本日不在の薬剤師の方の名前が挙がった。患者さんに名前を覚えてもらい、信頼されている様子を目の当たりにした。

コムクロシャンプーについて触れ、使用方法を調べた。乾いた頭皮に塗布し、15分間放置してから洗い流すという使用方法だった。乾いた状態で塗ること、放置時間があることが重要であると学んだ。

シロドシンとベオーバについて触れた。シロドシンは膀胱平滑筋に弛緩させて、排尿しやすくする作用があり、その結果として排尿回数が増える可能性も考えられる。ベオーバは β 3受容体刺激薬であり、膀胱の蓄尿機能を高めることで、尿の回数を減らす効果が考えられる。

日誌

日誌 08月01日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | ○ |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | ○ |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 08月01日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|---|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | 在庫管理を通して多く薬に触れることができ、薬の名前や効果については少しずつ覚えられるようになってきた。しかし、薬の作用機序についてはまだ自信がないので、何度も調べていく。 |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 08月02日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|--|
| 出欠状況 | 欠席 37.0 良好 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | |
| | | |
| | 10:00 | |
| | | |
| | 11:00 | |
| | | |
| | 12:00 | |
| | | |
| | 13:00 | |
| | | |
| | 14:00 | |
| | | |
| | 15:00 | |
| | | |
| | 16:00 | |
| | | |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 08月02日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|----------|--|
| 具体的な実習内容 | |
|----------|--|

日誌

日誌 08月02日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 08月02日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|--|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 08月03日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|--|
| 出欠状況 | 欠席 37.0 良好 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | |
| | | |
| | 10:00 | |
| | | |
| | 11:00 | |
| | | |
| | 12:00 | |
| | | |
| | 13:00 | |
| | | |
| | 14:00 | |
| | | |
| | 15:00 | |
| | | |
| | 16:00 | |
| | | |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 08月03日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|----------|--|
| 具体的な実習内容 | |
|----------|--|

日誌

日誌 08月03日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 08月03日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|--|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |